



PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会

西日本決勝 若木GC（佐賀） 西日本決勝大会・初日結果のお知らせ

<PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 西日本決勝>

- ◇2017年4月1日（土） ◇天候：晴れ
- ◇佐賀・若木GC（15－17歳の部男子6675ヤードほかカテゴリー別）
- ◇出場153人

<西日本決勝 初日概況>

15－17歳の部男子は、河本力（愛媛・松山聖陵高3年）が2アンダー70をマークして、2位に2打差の単独首位に立った。3月30日終了の全国高校ゴルフ春季大会を制した好調さを維持し、5、6番連続など4バーディー、2ボギーだった。同女子は小野里リア（クリスチャン・アカデミー・イン・ジャパン熊本校2年）、山本唯加（高知・明徳義塾高2年）、大林奈央（兵庫・相生学院高3年）が2オーバー74で首位に並んでいる。13－14歳の部男子は昨年世界ジュニア代表の松田正史（熊本・花陵中2年）と森下響（兵庫・日新中2年）が2オーバー74、同女子は梅津真優美（山口・マシュー・C・ベリー中2年）と山田萌結（もゆ、長崎・山里中年）が4オーバー76で、いずれも首位並走している。昨年のIMGA世界ジュニアに出場してシード権を取れなかった選手が、決勝大会シード選手として出場している。

大会は2日間36ホールの合計ストロークで争い、15－17歳、13－14歳の部男女は各2人、11－12歳の部以下の男女各3部門は各1人が日本代表に選抜され、IMGA世界ジュニア（7月12～15日、米サンディエゴ）に出場する。また、15－17歳の部男子1位に男子ツアー「HEIWA PGM CHAMPIONSHIP」出場権、13－14歳の部男子1位に同大会の出場を争う「HEIWA PGM Challenge」出場権がそれぞれ与えられる。

●西日本決勝 初日ハイライト1 ◇15－17歳の部男子◇佐賀・若木GC（6675ヤード、パー72）

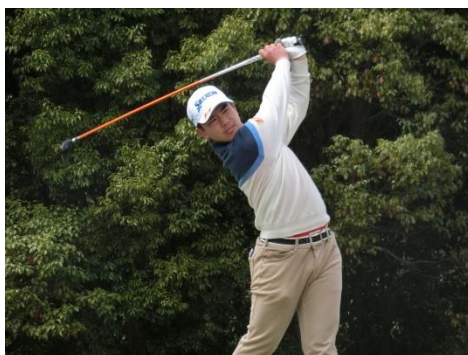
昨年のジュニア代表の河本力（愛媛・松山聖陵高3年）が2アンダー70の好スコアでトップに立った。最終18番パー5で打3打を1メートル弱につけるなど4バーディーを奪ったが、本人は「ティーショットが良くなかった。疲れが出てしまった」と振り返った。春休みになり、先週は女子ツアーのアクサレディスに出場した姉の結（日体大）に「キャディーを頼まれた」と、バッグを担いだ。終わってすぐに全国高校ゴルフ春季大会に出場して優勝。「一昨日最終日だったので、すぐにこの会場に来て昨日練習ラウンドしました。調子はいい感じで入ったんです」という。確かに強行日程の疲れはありそうだが、ゴルフ自体は好調を維持しているようだ。昨年世界ジュニアでは「60台を狙った」最終日に80をたたいて50位に終わった。「決勝大会では2位に5打差つけて勝つのが目標。バカな攻め方をしないで、引くことは引く、頭を使ってゴルフをしたい」と、まずは世界切符を獲得して、もう一度世界ジュニアの舞台で「力」を試したい。

●西日本決勝 初日ハイライト2 ◇15—17歳の部女子◇佐賀・若木GC（6184ヤード、パー72）

小野里リア（クリスチャン・アカデミー・イン・ジャパン熊本校2年）が、山本唯加（高知・明德義塾高2年）、大林奈央（兵庫・相生学院高3年）とともに、2オーバー74で首位に立った。「今日はしのぎのゴルフでした。あまり得意ではないパターが今日は調子よかった」と笑顔を見せた。バーディーは1つだったが、インスタートの1番でボギーにした後の2番で「第3打が30ヤード残って、左に5メートルぐらいにしか寄らなかったけど、それが入ってパーにしたのが大きかったと思います」と振り返った。熊本市在住で、母が米国人。「家の中では英語です。日本語より英語が得意」というが、日本語も全く違和感はない。「母の国ということもあるし、ゴルフを通じて世界に行きたいから」と、この大会に挑戦したという。「最終日は集中して、淡々とゴルフをしたいです。できれば優勝して米国に行きたい」と、世界ジュニア行きに思いを込めている。

●西日本決勝 初日ハイライト3 ◇13—14歳の部男子◇佐賀・若木GC（6675ヤード、パー72）

昨年の世界ジュニア代表の松田正史（熊本・花陵中2年）と、森下響（きょう、兵庫・日新中2年）が2オーバー74で首位に並んだ。この日は同組で回り、松田は「うまいと聞いていたんで負けんようにせんといかんと思ってやった」という。16番で3メートルのバーディーを入れて、ボギーにした森下に追いついた。「ショットもパットも悪かったけど、ドライバーだけ、打てる範囲内に行ったので何とか耐えるゴルフができた」と振り返った。森下は170センチの大型選手で、ドライバー飛距離は270～280ヤードだが「このコースは狭く感じるのであまり振っていません」という。5番パー5（477ヤード）では残り230ヤードを3番ユーティリティで4メートルに2オンし、イーグルを奪った。「でも、そのあと6、7番でボギーにしたので、今日はよくない」と反省。「ドライバーは自信があるので、最終日はアイアンとアプローチがカギだと思います」と、話した。最終日、2人は13—14歳の部男子の最終組でもう一度戦う。



写真

左上＝15-17歳男子 河本 力
右上＝15-17歳女子 小野里リア
左下＝13-14歳男子 森下 響
右下＝13-14歳男子 松田正史
©IJGA2017